

## 「医学部6年生との懇談会」を開催

富山大学附属病院では、4月22日(水)に、医学部6年生約50名、遠藤病院長、井上副病院長(教育・研修担当)、宮脇医学部長、廣川医学教育学准教授、山城卒後臨床研修センター長、戸邊専門医養成支援センター長、各診療科長等が参加し6年生との懇談会を開催しました。

本懇談会は、医学部6年生を対象として、「富山大学の研修はこう変わる！！」をテーマに、4月に遠藤病院長が就任し、学生にとって質の高い充実した研修プログラムを提供したいとする附属病院の方針により、研修のマッチングの時期を控えた学生と率直に意見交換することを目的として開催されました。

懇談会では、まず遠藤病院長から「キラリと光る富山大学に！」と題し、連続性と柔軟性を持った初期・後期専門医育成研修プログラムの重要性について話があり、次いで宮脇医学部長から「魅力ある母校に」と題して学生へ温かいメッセージが送られました。



また、山城卒後臨床研修センター長から、来年度からの初期研修プログラムについて最新の情報を交えた説明の後、戸邊専門医養成支援センター長から、同センターの活動と本院の魅力について説明がありました。

さらに、廣川医学教育学准教授からは、「臨床講義からみえたこと」と題し、ユーモアを交えた話がありました。

最後に飛び入りで医学部同窓会副会長の栗本脳神経外科講師から医学部生へ熱い思いや期待を込めたエールが送られました。

その後、和やかな雰囲気の中、学生と教員が一体となり活発な意見交換が行なわれました。

